第３回「博報日本語海外研究者招へいプログラム」

招へい研究者決定

財団法人博報児童教育振興会（理事長　近藤道生）は、第 3 回「博報日本語海外研究者招へいプログラム」の招へい者を決定し、2 月 26 日付で発表しました。

【本日の発表内容】

- **厳正な選考の結果、今年度はベトナム、アメリカ、中国、インドネシア、タイ、トルコより計 6 名の研究者が招へい研究者として選出されました。（別紙参照）**
- **研究は 2008 年 10 月～2009 年 9 月まで、独立行政法人国立国語研究所にて行われます。**

【本プログラムの設立背景】

- 当財団では、日本語、日本語教育、そして国語教育の深化と進展へのさらなる寄与を目的に、2006 年度より新事業として、（独）国立国語研究所の協力を得て「博報日本語海外研究者招へいプログラム」を開始いたしております。
- 本プログラムは、海外において日本語、および日本語教育の領域で優れた研究業績を有し、且つ指導的立場にある研究者を招いて研究・調査活動の機会を提供することで、日本における当該領域の研究進展と充実に役立てる事を意図しております。
- 本事業では、現在までに世界有数の 10 名の日本語研究者を日本へ招へいし、成果を上げております。詳しくは当財団ホームページをご参照ください。
  http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/program/index.html

【博報児童教育振興会とは】

- 当財団は 1970 年、児童教育を振興する目的で文部省（当時）認可の財団法人として設立されました。以来、「ことば」「文化」の領域を中心に、小・中学生を対象とした児童教育への実践活動や、「ことば」やことばに関わる「文化」を更に発展・深化させるための研究を支援しております。

＜この件に関するお問合せ＞
〒１０１－００５４　千代田区神田錦町３－２２
財団法人 博報児童教育振興会
ＴＥＬ　０３（３２３３）６７８８
ＦＡＸ　０３（３２３３）６３２５
ホームページ　http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/

（別紙）

第3回博報日本語海外研究者招へいプログラム　招へい者一覧

研究タイトル	招へい者	国	研究期間
「ベトナムの日本研究者のための 日本語における漢字教材」作成	TRAN THI HOANG MAI （チャン　ティ　ホアン　マイ） 日本研究センター・情報図書館センター 所長	ベトナム	2008年10月1日 ～2009年3月31日
小学生のための日本語の学習言語の分析	バトラー　後藤　裕子 （ バトラー　ゴトウ　ユウコ） ペンシルバニア大学 准教授	日本（アメリカ）	2008年10月1日 ～2009年7月31日
自己研修型の教師養成に向けて －中国人日本語教師の聴解授業の分析から－	尹　松 （イン　ショウ） 華東師範大学外国語学院 准教授	中国	2008年10月1日 ～2009年9月30日
日本語・インドネシア語の身体語彙慣用句の比較研究	AGUS SUHERMAN SURYADIMULYA （アグス　スヘルマン　スルヤディムリア） 国立パジャジャラン大学 日本語研究センター 所長	インドネシア	2008年10月1日 ～2009年9月30日
タイにおける日本語自律学習支援へ向けての調査研究 －ICTの活用，殊にe-Learning導入の可能性について－	TASANEE METHAPISIT （タサニー　メータービスィット） 国立タマサート大学 教養学部日本語学科 准教授	タイ	2009年3月1日 ～2009年9月30日
日本語とトルコ語における丁寧表現の種類	TEKMEN Ayse Nur （テキメン　アイシェ　ヌール） アンカラ大学 日本語日本文学科長	トルコ	2008年10月1日 ～2009年9月30日